

3月22日（火）人事異動内示

不具合があった際は、ご一報ください。

22日（火）18:30～ 分会代表者会議

泉北教育

NO.2037 2016.3. 14.

発行 泉北教職員組合

〒594-0071 和泉市府中町6-12-2

TEL0725-41-1953 Fax0725-44-6570

E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

「戦場ぬ止み」上映会に220名 心うたれた！三上監督の講演



三上 智恵監督

三上監督の講演では「今、美しい辺野古の海を埋め立てて最新のアメリカ軍基地が作られようとしています。」

辺野古は普天間基地の代替施設ではない

映画は午後と夜の2回にわたって上映され途中、三上智恵監督の講演も行われました。

この映画は、沖縄の米軍普天間基地の移設をめぐる、辺野古への移設に反対する沖縄県民の闘いを追った映画で、沖縄の実相を三上智恵監督が映画化したものです。

沖縄のドキュメンタリー映画「戦場ぬ止み（いくさばぬとうどうみ）」上映及び三上監督の講演会が3月6日（日）和泉市コミュニティセンターで開催され、220名の市民が参加しました。主催は、泉州地域で「平和を守る一点」での共同の取り組みを進めている「せんしゅうピースアクション」です。

オスプレイ100機が配備される巨大な軍港はもはや普天間基地の代替施設ではありません。」と辺野古への基地移設の真相を聴くことができました。

沖縄のことを 深く考えよう！

上映会と三上監督の講演に参加された方からの感想を紹介させていただきます。

＊映画「戦場ぬ止み」では辺野古の住民や沖縄の人々の怒りや苦悩、悲しみなど織りなす様々な人間模様を描きながら、沖縄の切なる願いを今、私たちに問いかけているようでした。

＊もし戦争になったら、また日本は沖縄を見捨てるかも知れません。

＊本当に辺野古に基地が必要なのですか？本当に辺野古で良いのでしょうか？

私たち一人ひとりが自分のこととして考えるべきだと思います。



＊基地は攻めると同時に攻められる存在です。基地がある限り戦争は続きます。アメリカは朝鮮、ベトナム、湾岸、アフガニスタン、イラクなど戦争を続けてきた国です。沖縄の米軍基地から戦闘機が飛び立っていきま

ました。米軍の腕章には、OKINAWAと縫い込んであったそうです。沖縄が憎まれる対象になっていたわけです。

＊県知事選挙で翁長さんの得票は10万票差です。これは大阪でいうと70万票差、東京なら100万票差です。これほど明確に県民の意志が表されているにもかかわらず

らず、沖縄の民意を無視する政府・安倍政権に憤りを感じます。

＊「辺野古に作ろうとしている基地は普天間の代替えではない。」という三上監督のお話に背筋が寒くなりました。今も沖縄の米軍基地から戦闘機が飛び立っています。

沖縄のたたかいは、今の日本がどこへ向かうのかという問題と切り離して考えることはできません。泉北教組では、引き続き、戦争法反対など平和を守る運動の取り組みを進めていきます。

「戦争法」の廃止を求める

2000万人 統一署名

にご協力を！

「戦争法」発動反対。子どもたちや自衛隊員を戦場に送るな。